

《研究主題》

めあてをもち ともに学び合う子どもをめざして
～算数科の学習を通して～

(協議の視点)

- ・関心や意欲を高めるめあての工夫
- ・よりよい考え方や新しい考え方をみんなでつくる 練り合いのあり方

第4回 明德小学校授業研究会

平成26年12月15日(月)

- ①1年 研究授業 13:00～13:45
- ②5年 研究授業 14:00～14:45
- ③授業研究会

指導助言: エキスパート教員

鳥取市立遷喬小学校 姫田 恭江 先生

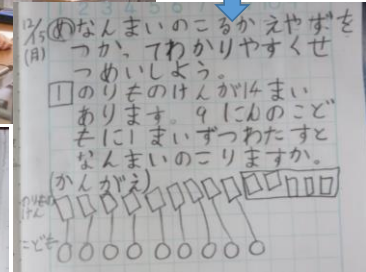
1年「ものとひとのかず」
授業者 吉田辰子



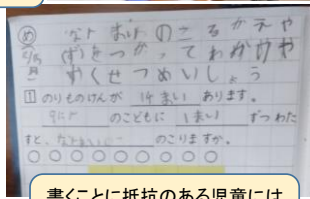
「どんな問題ができるかな?」
児童と一緒に問題を構成します。



自力で解決します。
「図であらわすとうかな?」



学び合いは、ペアでも、
全体でも、です。
「残りはね・・・。」



書くことに抵抗のある児童には、
支援シートを準備。



・もっと信用して、児童の言葉で説明させる。
児童を育てることを考える。



・知識を教えるのではなくて、知識の得方を、
どうやって学ぶのかを考えさせる。→アクティブラーニング

授業研究会

・できたら褒める。そしてその後何をしたら良いかを言うておくことは必要。
(ペアで説明する・図に説明を入れる・他のペアに伝える・わからなければ逆に聞く・人数が変わったら考える・別の方法を考える など)

5年「単位数あたりの大きさ」
授業者 徳橋毅・清水良



問題の構成
「新聞紙の上に乗った
ね。」
「どっちが混
んでいたか
な?」



学びあい、伝え合う
「他にもこんなやり方があります。」

